

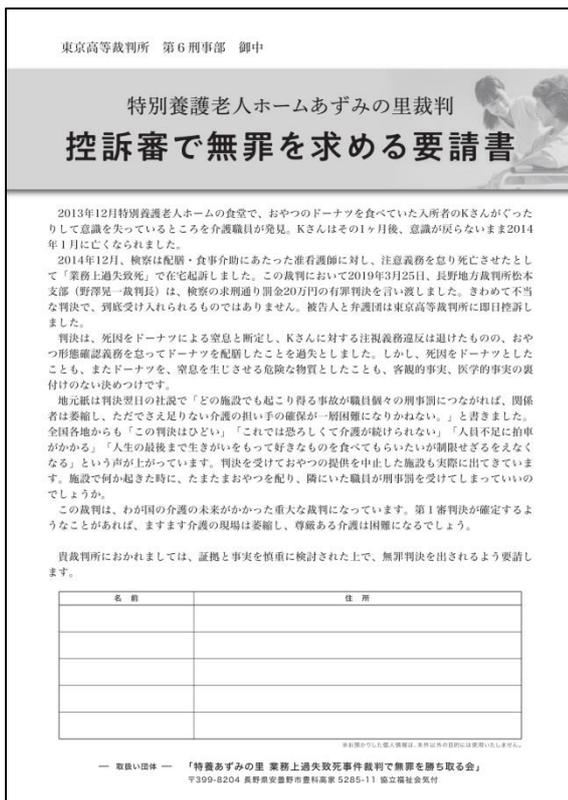
# たたかいは東京高裁へ 控訴審で無罪を勝ち取るため さらなるご支援をお願いします

## 高裁宛の署名に取り組みます

## 学習パンフ（増補版）

まずは8月末までにできるだけ多くの署名を集めて事務局へ送ってください。地裁あての署名と同じくらいの数（約45万筆）を集める事を目標にしています。

これまで使っていた、裁判のことがよく分かる「学習パンフ」に判決についての報道や評価などを掲載した「増補版」を作りました。支援を広げるのにご活用ください。



☆署名用紙・学習パンフの送付をご希望の方は下記までご連絡ください。

長野県民主医療機関連合会 湯浅・川北 〒390-0803 松本市元町 2-9-11 民医連会館 2F

TEL 0263-36-1390 FAX 0263-33-1229 E-mail:kawa@n-mr.com

☆こちらからダウンロードできます → <http://www.mintyo.or.jp/min-iren/trial/>  
ニュースなども掲載しています

あずみ裁判支援

検索



## あずみの里控訴審裁判支援中央連絡会

控訴審でたたかいの場を東京に移すことになったことを受けて、5/28に全日本民医連、日本国民救援会、日本医労連、保団連の代表の方が集まって、高裁でのたたかいを支援する組織、体制などを相談されました。まずは、各団体で運動を広げるため学習会を開催することになりました。

6月25日(火)18:00～ 平和と労働センター2階ホール  
「特別養護老人ホームあずみの里裁判学習会

～これからの闘いに向けて～

- 裁判の経緯と一審判決について(弁護団)
- 連帯の挨拶(宮子あずさ氏)
- 今後の取り組みについて

特別養護老人ホーム あずみの里裁判学習会  
～これからの闘いに向けて～

日時：2019年6月25日(火)18:00～20:00

場所：平和と労働センター2階ホール

～内容～

- 裁判の経緯と一審判決について(弁護団)
- 連帯の挨拶(宮子あずさ氏)
- 今後の取り組みについて



宮子あずさ  
看護師・看護学博士

1963年に生まれる。1987年に看護師の資格を得て内科や精神科などを経験。その後、大学通信教育で短大1校、大学2校を卒業する。2009年には大学院博士課程に進み2013年に修了する。現在は精神科病院で訪問看護師として勤務しながら、大学非常勤講師や作家としても活躍している。

ほんわか博士生活・看護と著述とサトルと  
<http://miyako.life.cocoon.jp/index.html>



共催：特養あずみの里 業務上過失致死事件裁判で無罪を勝ち取る会  
あずみの里 控訴審裁判支援中央連絡会  
お問い合わせ先：Tel 03-5842-6451(全日本民医連内：山川・宮澤・宮川)

## 支援集会を開催します

「特養あずみの里業務上過失致死事件裁判を考えるシンポジウム」(仮)

8月18日(日)10:00～12:00 安曇野スイス村「サンモリッツ」大ホール

安曇野市豊科南穂高 3800-1 長野自動車道安曇野ICから約5分

➤ 内容(予定)

それぞれ専門家・介護現場の職員によるシンポジウム形式

そもそも介護とは／目指す介護・裁判の影響／介護保険制度／裁判の不当性

## 引き続き 募金をお願いします

不当判決によって控訴審となり、さらに裁判闘争にお金がかかるようになってきます。

今後、裁判闘争にかかる費用として

- ・弁護士費用
- ・新たに証人となってもらふ専門家への相談や依頼
- ・署名用紙や学習パンフレット(新しいパンフレットを作成しました。チラシのように配布して、世論に大きく訴えていきたいと考えています。印刷費用、郵送費など新たに発生しています。)
- ・東京に舞台を移ったことによる交通費 などなど

が考えられますが、まだまだ必要となります。個人・団体のみなさんの少しずつの募金がかかります。どうぞよろしくお願いいたします。

振込先：長野銀行 本店 普通 8828733 無罪を勝ち取る会